



高松と高知(ITV会議)での公開セミナー

任意団体 NPO地域づくり工房

# 自主簡易アセスの普及に向けた 支援ツールの開発

一般助成

3年目

知識の提供・  
普及啓発

公開セミナー  
(全国6カ所)の参加者数 **78人**

普及啓発を兼ねた  
自治体向け  
アンケート調査の実施件数

**83件**

活動の全体目標に  
対する達成度 **95%**

## 課題

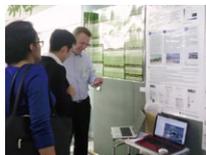
中小規模での開発事業における自主簡易アセスが事業者と環境NPOの協働で実施されることで、我が国の開発行為における環境配慮の取組みのすそ野を広げ質を高める。

## 目標

過去2年間に開発してきた支援ツール(支援サイト、簡易診断ソフト、テキスト等)の普及を図り、各地に自主簡易アセスを取り組もうとする仲間を広げること。あわせて本会における自主簡易アセスの対応能力を高める。

## 活動内容

- ①公開セミナー「自主簡易アセスを広めよう!」を6会場で開催(広島、高松・高知、東京、愛知、熊本)
- ②IAIA(国際影響評価学会)名古屋大会、環境アセスメント学会研究発表大会での発表
- ③無償ソフト「自然との触れ合い活動の場チェック～簡易立地診断マップ～」の作成、公開
- ④自治体に対するアンケート調査の実施と学会発表等
- ⑤太陽光発電所をめぐる自主簡易アセス実施事例の開拓と係争事例の調査研究と発表



IAIAでのパスター発表

## 達成できなかったこと

公開セミナーはもっと参加者を得たかった。各地のEPOや協力団体に頼りっきりで、独自組織の努力が不足していた。

## 今後の展望

活動評価会を通じて、NGOの支援による「住民アセス」を進めるツールの開発を進めていきたい。

## 成果と工夫した ポイント



### 成果

公開セミナーや学会発表、環境省の事例集等を通して「自主簡易アセス支援サイト」を通じた問合せや、簡易アセス導入を検討する自治体からの相談が来るようになり、確実に社会に影響を波及させている。

### 工夫

専門技術を持つ企業との協働。学会等での発信。地方EPOとの連携。アンケート調査を通じた普及啓発。